

新gTLD .niigata のインパクト

2009/08/01 @ OSC2009 Niigata
新潟インターネット研究会
石本 勝一
ishimoto@nisoc.or.jp

agenda

- gTLD
- 新gTLD
- .niigataのインパクト
- IDN

gTLD

- 分野別トップレベルドメイン(gTLD: generic TLD)
- 国コードトップレベルドメイン(ccTLD: country code TLD)

• .gov .com .net .org .pro .biz .info
(gTLD: general TLD)

• .aero .coop .museum .name .cat .edu .mil .asia .int .jobs
.mobi .tel .travel
(sTLD: sponsored TLD)

◆ .ru .cn .kr .jp ...
(ccTLD: country code TLD)

TLDはすべてで283でした。
(cctld 251, gTLD 4, gTLD restrict 3 (.biz, .name, .pro), infra 1 (.arpa), std 13, test 11)

<http://www.iana.org/domains/root/cctld/>

新gTLD

- もっとgTLDが増やすことが可能でしょう、となる・・・
 - → New gTLD Program: Draft Applicant Guidebook (Draft RFP)
 - (新gTLD応募に関するdraft版ガイドブックが2008/10/23にICANNより公開)
- 新gTLDを責任を持って運用できるレジストラを募集する。
 - ICANNとレジストリ契約
- 新gTLDを設ける上限数はなしとする。
- 新gTLDを新設する際、ICANNへの応募査定料は185,000\$
- レジストリとなった場合の手数料は年間75,000\$
- 技術的要件、紛争処理能力なども必要
 - おいそれと誰でもgTLDを使えるわけではない
- 大きな既存レジストラが新商売として始めることになりそう。
- 2009/12からは早くも募集が始まるかもしれない

新gTLD (2)

- 新gTLDにも2種類に分類される
- Open
 - 従来のun-sponsoredに相当、誰でも登録可能
- Community-Based
 - 従来のsponsoredに相当、特定のコミュニティ向け
- この2つの扱いについてはどんな査定が待っているのだろうか・・・
- .orzは？

.niigataのインパクト

- 地理的名称の観点から、優先される申請者は地方自治体
- .niigata でニイガタを世界にアピール？
 - 新潟のブランディングには非常にプラスになりそう。
 - 「.niigata」自体が長い・・・
- 自治体がgTLDホルダになったとして、専用の窓口などが必要に？
 - サブドメインの管理、問い合わせ窓口、さまざまな処理が待ち受けている・・・
- 査定料、維持料をペイできるようなメリットがあるか？
- 自治体がドメイン名事業？
 - サブドメインで、新潟に関するあらゆるものを集約できそう。
- いずれにしてもコンテンツとセットで考える必要あり。

.niigataのインパクト(2)

- kokutai.niigata (間に合えばよかったですね・・・)
- toki.niigata
- okome.niigata(rice.niigata)
- poppoyaki.niigata
- sake.niigata
- tulip.niigata
- sasadango.niigata
- kakinotane.niigata
- gatter.niigata
- ryuto.niigata
- shinanogawa.niigata
- hanabi.niigata
- ポキャブラリが低いことが良くわかる・・・> 自分

IDN

- Internationalized Domain Names
- 国際化TLDについての議論も進んでいる。
- TLDでもpunycode(RFC3492の符号化)を使えるようにする。

- `http://例え.テスト` 実際に接続できます。